

国道7号 秋田南拡幅 事業計画(案)について

1. 国道7号 秋田南拡幅 事業の必要性
2. 国道7号 秋田南拡幅の整備方針(案)

令和4年2月15日

1. 国道7号 秋田南拡幅 事業の必要性

1. 国道7号 秋田南拡幅 事業の必要性について

- ◆ 秋田港では、ガントリークレーンの整備等の機能強化が図られており、コンテナ貨物取扱量が増加傾向。
- ◆ 本荘由利地域への輸入コンテナ貨物輸送量は10年間で約3倍に増加しており、特に化学工業品の伸びが顕著。本荘由利地域の電子部品製造工場では、化学工業品（化学薬品）が製造工程で使用されており、当該区間は物流ルートとして利用されているが渋滞により物流の円滑性を阻害。
- ◆ また、物流事業者からは渋滞や冬期の交通課題が指摘されるなど、物流経路としての円滑性や冬期交通の信頼性確保が求められている。

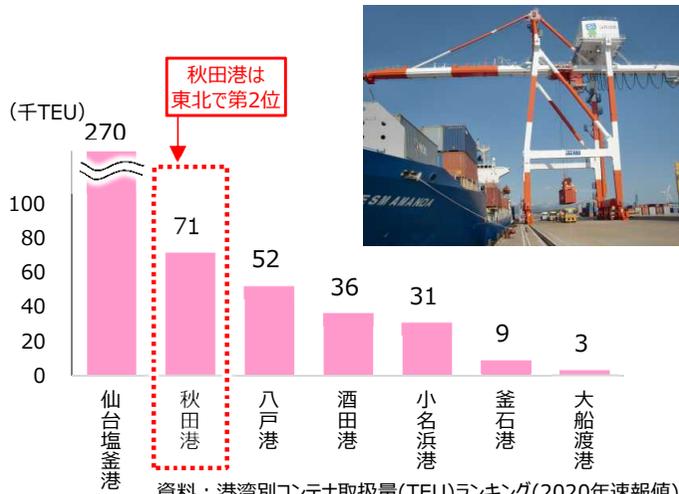


図1 東北の港湾別コンテナ取扱量

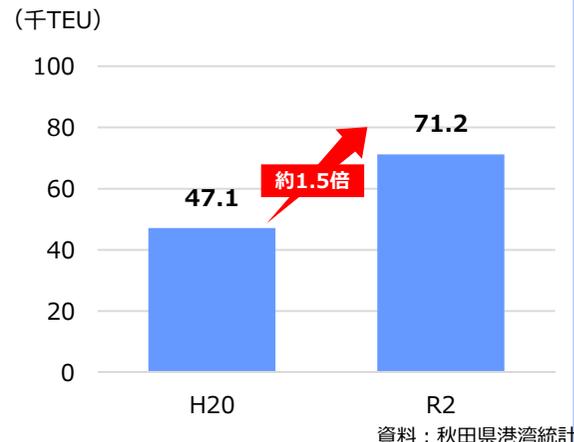


図2 秋田港のコンテナ貨物取扱量

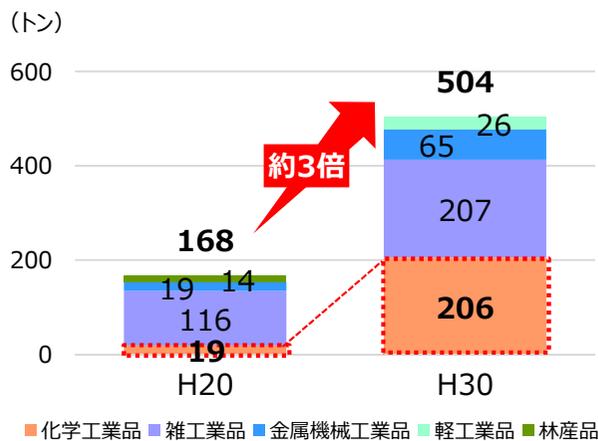


図3 秋田港から本荘由利地域への輸入コンテナ貨物輸送量

【当該区間を利用する物流事業者の声】

- ・ 物流は拠点から消費地までスムーズに結ぶことが重要。道路環境が如何にいいか、渋滞があまり発生しないルートが重要となる。
- ・ 特に冬期間は、2車線道路では雪により大型車がスムーズに走れないことがある。

※R3.12ヒアリング結果



図4 秋田港発着の貨物車両の主な利用経路

1. 国道7号 秋田南拡幅 事業の必要性について

- ◆ 秋田南拡幅区間は4車線区間に隣接したボトルネック区間で、朝ピーク時に交通が集中することにより臨海十字路交差点を起点とした渋滞が発生。
- ◆ 当該区間の交通量は増加傾向にあり、速やかに交通容量を確保し速達性・定時性の向上を図ることが求められている。
- ◆ さらに冬期は、吹雪等による速度低下に加え、大型車のスタックによる車両滞留が発生するなど、交通に支障をきたしており、定時性の確保が課題。

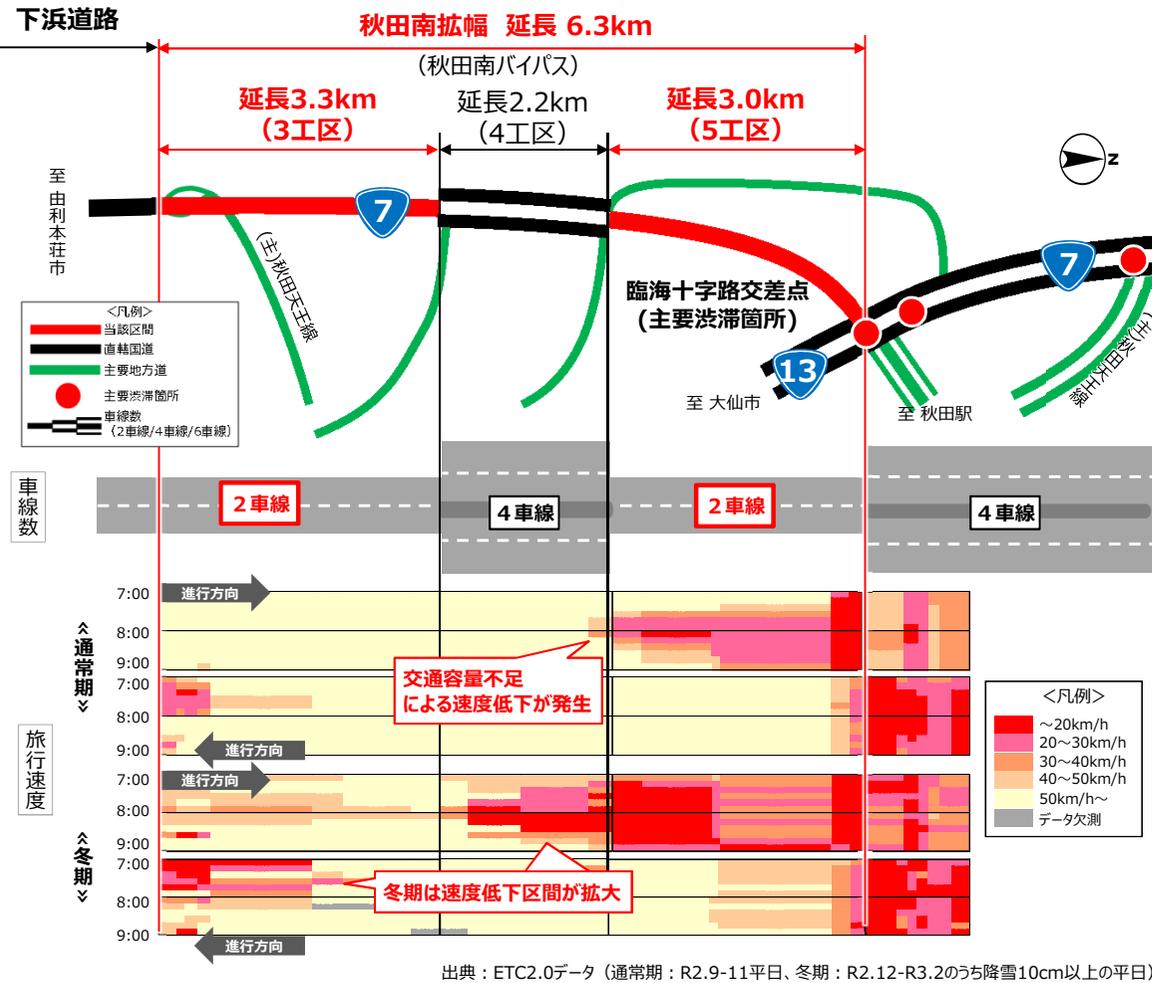


図1 国道7号の速度状況



写真1 国道7号の渋滞状況



写真2 国道7号の吹雪等による車両滞留状況

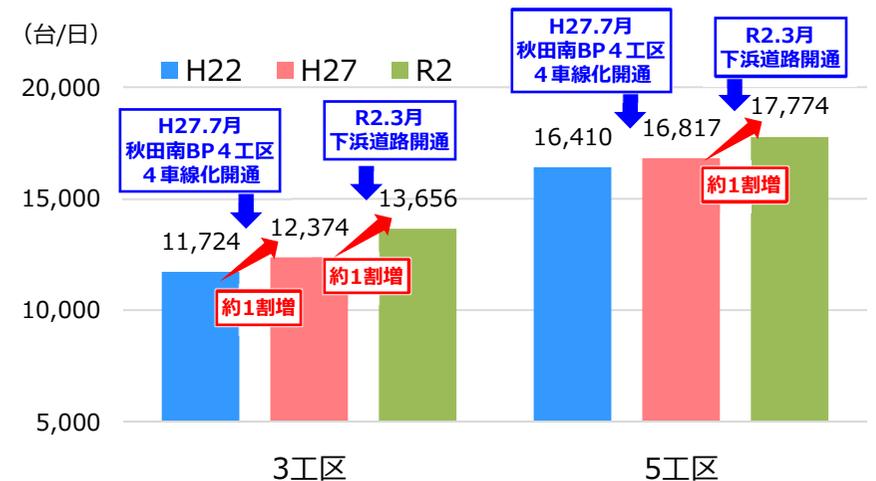


図2 秋田南バイパス 3・5工区の交通量の推移

1. 国道7号 秋田南拡幅 事業の必要性について

- ◆ 秋田南拡幅区間の死傷事故率は、臨海十字路交差点において692件/億台キロと東北管内の国道7号でワースト1となるなど事故が多発。
- ◆ 当該区間全線においても、交通混雑に起因する追突事故が約6割と多く発生しており、安全性に課題があり、交通安全上の課題解消が求められる。

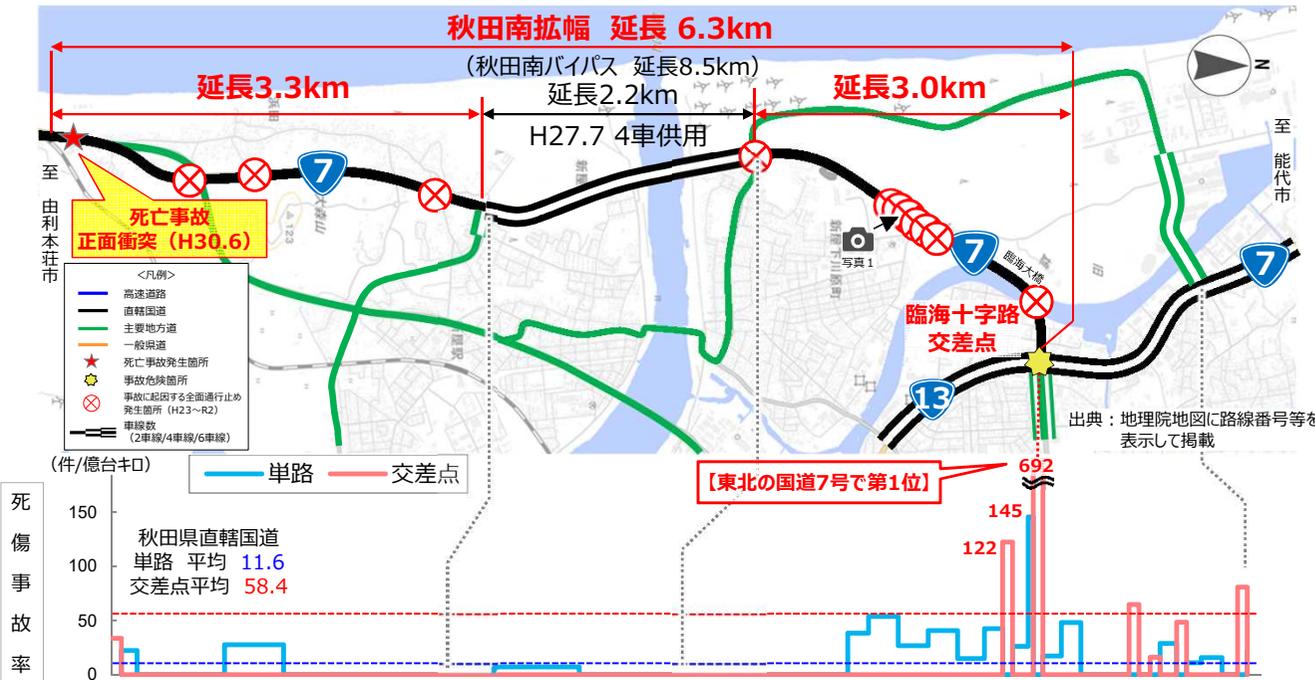


図1 国道7号 対象区間の事故発生状況 出典：ITARDA事故データ (H28~R1)

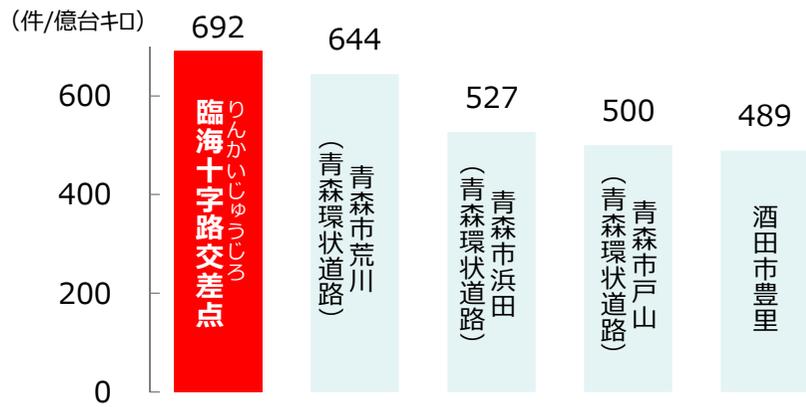


図2 東北の国道7号における死傷事故率ワースト5



写真1 対象区間での事故発生状況

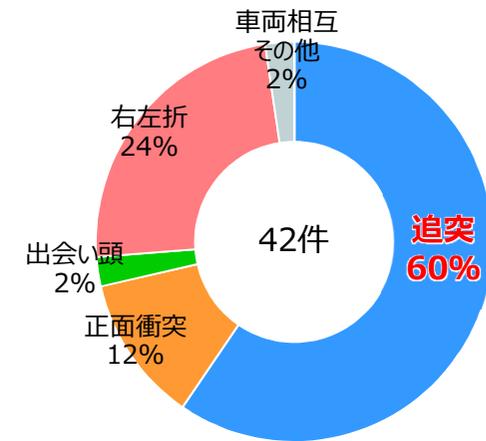
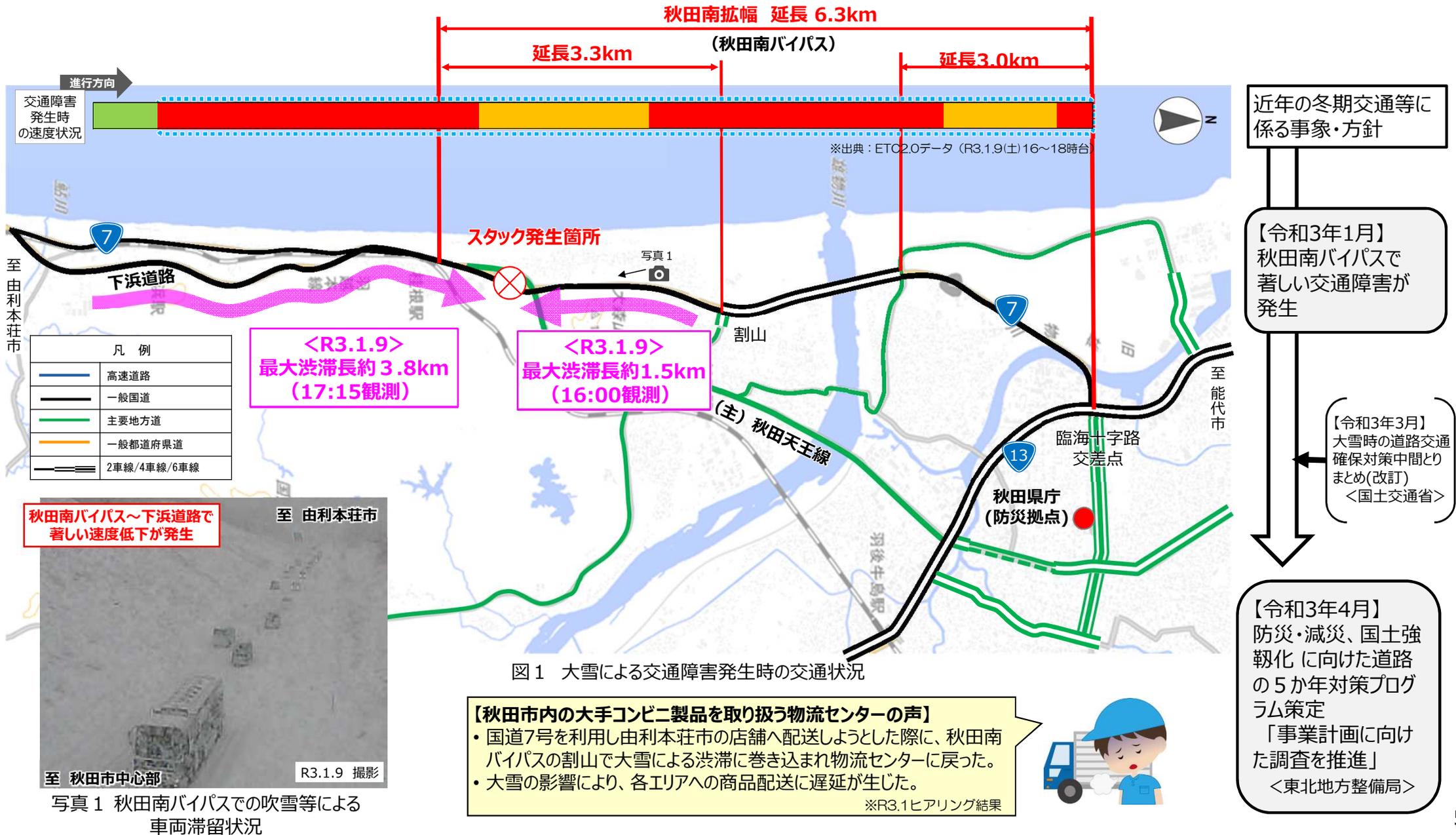


図3 当該区間の事故類型

1. 国道7号 秋田南拡幅 事業の必要性について

- ◆ 令和3年1月の大雪時には日本海側を中心とした吹雪等となり、当該区間でのスタック車両発生による大規模な車両滞留が発生。
- ◆ 大規模な車両滞留により、物流への支障等が発生しており、速やかに幹線道路としての機能強化を図り、冬期交通の信頼性を確保することが求められる。



2. 国道7号 秋田南拡幅の整備方針(案)

2. 国道7号 秋田南拡幅の整備方針（案）

◆ 秋田南拡幅の現状と課題に対して、地域の将来計画を含め幹線道路として求められる機能及び整備方針（案）を以下のとおり検討。

	現状と課題	地域の将来計画での整理	求められる機能
物流	<ul style="list-style-type: none"> ・ 渋滞により円滑な物流活動を阻害 ⇒秋田港に関連した物流交通において国道7号は重要な路線 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 港湾や空港へのアクセス強化、産業・物流拠点のポテンシャル向上 <small>【秋田県道路整備計画(R2.3)】</small> ・ 平常時・災害時を問わず、主要都市や物流拠点間を円滑かつ確実に結ぶ広域道路ネットワークを構築 <small>【秋田県新広域道路交通ビジョン(R3.6)】</small> 	<p>物流経路としての円滑性を確保 ⇒物流導線の強化による物流の効率化、及び地域産業の活性化を支援</p>
交通渋滞	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通容量が不足 ⇒2車線の交通容量を上回る交通が集中することや車線の絞り込みによる渋滞が発生 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内外の円滑な交流連携の強化 ・ 渋滞緩和のための道路整備を推進 <small>【第3次秋田市総合交通戦略(R3.3)】</small> 	<p>幹線道路の速達性・定時性向上 ⇒交通容量の確保により、円滑な交通確保</p>
交通事故	<ul style="list-style-type: none"> ・ 追突事故の多発 ⇒速度低下に起因する追突事故が多発 交通事故による通行止めが発生 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全な道路環境の確保 <small>【第3次秋田市総合交通戦略(R3.3)】</small> 	<p>幹線道路の安全性向上 ⇒渋滞に起因する事故を回避できる安全・安心な交通の確保</p>
防災	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時に交通機能が低下 ⇒2車線区間で吹雪等の影響で速度低下や大型車のスタックが発生し車両が滞留するなど、主要幹線道路の交通機能に支障 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路の強靱化の推進_災害時の交通移動を確保出来る道路 <small>【秋田県道路整備計画(R2.3)】</small> 	<p>災害に屈しない強靱で信頼性の高いネットワーク構築 ⇒吹雪等においても車両滞留を回避し定時性を確保できる交通機能の確保</p>

【整備方針（案）】

秋田南バイパス（2車線区間）の4車線化による機能向上

2. 国道7号 秋田南拡幅の整備方針（案）

◆ 秋田南拡幅の2車線区間については、整備の必要性が高く、速やかに4車線化による機能向上が必要。

